

テーマ：北方領土（実践校）

渡島管内 函館市立上湯川小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・第5学年の総合的な学習の時間において、ふるさと北海道に対する愛着や誇りを育むため、北方領土の自然や産業等について調べるとともに、元島民の方を外部講師として招聘し、講話等を通して北方領土の特色や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

前年度の学習を踏まえ、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、各種資料で調べたり、元島民の方の講話を聞いたりすることを通して、北方領土についての興味・関心を高め「北方領土の自然や産業等についてスライドにまとめ、今までとこれからを考える」という探究的な課題を設定しました。



【講話の様子】

(2) 情報の収集

「北方領土ってどんなところ？」（社団法人 北方領土復帰期成同盟）や、インターネットを活用した調べ学習に加え、北方領土の語り部（公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟）の講話等で、北方領土の自然や産業等についての情報を収集しました。

(3) 整理・分析

児童が設定した課題について収集した情報を基にして、自分たちが住んでいる地域と比較して考え、スライドにまとめました。

(4) まとめ・表現

調べてわかったことや、考えたことを発表し、友だちと交流する活動を通して、北方領土の自然や産業等についての理解を深め、これからの北方領土に対する願いを考えることができました。また、他学年の児童の北方領土に対する興味・関心を高めるため、作成したスライドを印刷し、校内に掲示しました。



【発表会の様子】

②児童の感想等

- ・北方領土に住んでいた人の話を聞いて、私たちと変わらない暮らしをしていたことを知りました。
- ・建物や交通の整備がされていたら、暮らしやすい町になったのかなと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 「北海道ふるさと教育指導プログラム」や千島歯舞諸島居住者連盟からの資料を活用して学習を進めたり、北方領土の語り部の講話を聞いたりしたことにより、北方領土に関するアンケートで、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合が11%増加するとともに、「北方領土の自然や生活の様子をもっと知りたい」と回答した児童の割合が15%増加するなど、北方領土に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 児童がより一層、地域の歴史や文化等について、主体的に課題を探究できるよう、事前学習や事後の振り返り等を含めた学習計画を、より明確にする必要があります。